

ボランティアセンターで消防訓練

リチウムイオン電池による 火災が全国的に多発

8月5日、ボランティアセンター2階給湯室から出火という想定で消防訓練が実施されました。この日センターで活動中のボランティア16人は、誘導に従って速やかに戸外に避難。その後、交野消防署員さんの指導のもと、火災時の対応では、①まず周りの人に知らせる。②初期消火と119番通報。③初期消火後は素早く逃げるなどの話に続き、消火器の使用法も体験することができ、この訓練が非常時の落ち着いた行動につながると思われました。



センター2階に備えられている「避難梯子」の設置の仕方も教わりましたが、設置できたとしても梯子で壁伝いに降りるのは容易ではないと思われました。非常階段があればという声も聞かれました。
(あい・H)

消火訓練後、リチウムイオン電池が原因の火災が全国的に増加しているのに注意するよう呼びかけがありました。この電池はスマートフォン、携帯充電機(モバイルバッテリー)、タブレット、電子タバコ、ノートパソコンなど、小型で大量の電力を必要とする製品に使用されています。

どんな火災が発生しているのか、専用の充電器を使用しなかった、社告に伴うリコール品を使用していた、経年使用による劣化で出火した、電池、制御装置等、製品の不具合、転倒した際にスマートフォンが強い衝撃を受け異常発熱し、出火したなどの事例が紹介されました。

電池から火花が飛び散っている時には近寄らず、火花が収まったらから消火器や大量の水で消火するとともに119番通報してください。詳しくは市のホームページ(くらし、消防・救急)をご覧ください。

交野のまちのボランティア体験 in ボランティアサロン

誰でも気軽に参加でき、ボランティアに関して、知る、学ぶ、交流するサロンを毎月開催しています。

9月は、ボランティア活動紹介DVDを鑑賞し、自分に合ったボランティア活動を無理なく、楽しく、活動に参加する方法を、探してみませんか？

当日は障がい者との交流「ほほえみ」、おもちゃ作りや演芸・ニューススポーツなどを通して世代間交流を図る「玉手箱」、子育て広場「アリス」の活動中の見学・体験もあります。ぜひお気軽にご参加ください。

とき 9月19日(木) 午後1時~3時
ところ 交野市ボランティアセンター2階
対象 市内周辺在住・在勤・在学者
定員 20人
参加費 無料
申し込み 交野市ボランティアセンター
TEL 894-3737
FAX 891-3340



10月1日▶12月31日

赤い羽根街頭募金運動 ボランティア募集

ご協力いただける方はボランティアセンターへ、9月13日(金)までにご連絡ください(各日数名)

- 10月1日(火) 京阪交野市駅 17:30~18:30
- 10月2日(水) 関西スーパー倉治店 10:00~11:00
- 10月2日(水) JR星田駅 17:30~18:30
- 10月4日(金) JR河内磐船駅 17:30~18:30

ICカード普及率関西が低い？

10月1日から消費税が10%に引き上げられます。それに伴い、いろいろな物の価格も値上げされます。郵便切手ももちろん、電車賃などの交通費も上がり。

さて、その交通費ですが、前回2013年に消費税が8%に引き上げられたとき、関西圏と関東圏では値上げ額に違いがあったのをご存じですか。関西圏では、切符もICカードも一律10円単位で値上げされました。関東圏では、切符は10円単位で、ICカードは1円単位で値上げされました。なので、プリペイド方式(先にカードに現金でチャージしておく方法)だと、カ

ード残額が1円単位で引かれていきます。

現在、関西圏のICカードも関東圏で使用できませんので、旅行などで関東圏に行つてカードを使用すると、使用額は1円単位で計算されます。でも関西圏に帰つてくると、10円単位でしか引かれま

せんので、10円未満の端数は残つたままです。(カード更新時には精算されますが)ICカードをお持ちの方で、関東圏に行かれる方は一度確認してみてくださいね。

ちなみに、関東圏ではICカードの方が安い、もしくは(切符と同額となるように設定されているので、カードがかなり普及しているようですが、関西圏では、特にICカード使用のメリットも感じられず、また、格安切符の利用も多いことから、ICカードの普及率は低いそうです。

(k記)



どうして「点心」というの

餃子やシューマイ、小籠包などは「点心」と総称される。この「点心」という言葉は、禅の言葉「空心の間に点ず」に由来する。

禅の修行は厳しく、修行僧たちは簡素な食事をとることになる。「空心の間に点ず」の「点」は少しという意味で、一方、「心」は「身体」という意味を含む。つまり、僅かな食べ物で空腹を満たすのが「点心」なのだ。 「雑学大好き」

みんなのひろば

やっかいな線状降水帯

8月27日から降り続いた九州北部の雨は記録的な降雨で甚大な被害をもたらした。要因は線状降水帯で、一昨年の九州北部豪雨、昨年の西日本豪雨と3年続きの厄介者だ。前線上に積乱雲が次々と発生し、その規模は幅20~50km、長さ50~200kmになる。停滞性の線状降水帯は同じ場所で激しい雨が3時間を超えて降り続く。水蒸気の供給や上昇気流を引き起こす要因の解消、積乱雲を移動させる上空の風の変化を待つしかないとは自然の恐ろしさを実感するばかりである。

重陽の節句は 縁起のよい日



旧暦の九月九日は、とてもめでたい日とされている。陰陽道では奇数は陽の数で「九」は最も大きい陽の極数で、それが二つ重なることから「重陽」と呼ばれた。古代中国では、この日は香気の強い木の実を身につけて山に登り、菊の花びらを浮かべた菊酒を酌み交わし、長寿と無病息災を願う風習があった。この風習が天武天皇の時代には日本に伝わり、「菊花の宴」が催され、菊酒を飲み交わし長寿を祝った。菊は不老長寿の霊草と信じられていた。こうしたことで重陽節として宮中の正式な行事になったといわれる。

しかし明治以降、新暦に移行して、現在の九月九日は菊が咲く時期ではなくなくなってしまったのが「重陽の節句」が廃れた一因かもしれない。
(竹とんぼ)